

[科目名] 科学技術と社会Ⅱ				[単位数] 2単位	[科目区分] 教養科目(第3群)		
[担当者] 本田 明弘 Akihiro Honda		[オフィス・アワー] 時間:講義中に指定 場所:講義中に指定			[授業の方法] 講義およびグループ討議		
[科目の概要] 本講義では、感染症と気候変動を例にとり、科学技術と社会との関連を考えます。いずれも科学と技術が社会に対して大きな役割を担っている一方で、それらの受け止め方にはいくつかの課題も存在し、これらについて理解を進めます。科学は真理の探究、技術は社会への橋渡しとして認識されていますが、受け入れる社会側でもこれらの特性を理解したうえで科学、技術、社会の各々の役割について議論してゆきます。講義においては受講生が事前に調査したことをもとに、グループでの対話形式を基本に進めてゆきます。							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] 本講義では、青森の特長を理解して、地域の発展をけん引できるリーダーとしてのスキルを培ってほしいと考えます。そのためには現時点での科学・技術の課題に関する基礎的な知識を身に付け、具体的な行動につなげてゆく必要があります。これにより青森の抱える種々の課題を克服できる可能性があります。							
[科目の到達目標] 中期目標 科学技術と社会との関係に関する基礎的な知識を習得する。 最終目標 感染症および気候変動の特長を理解して、今後の地域でのリーダーシップを身に着ける。							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○	○	○	○		○		
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] 受講生個々の知見を高めることと、グループでの討議を通じたリーダーシップを発揮してほしいと考えます。							
[教科書]なし							
[指定図書]なし							
[参考書] コロナ禍と気候変動問題から考える 科学×技術×社会 佐藤直樹著、(2023)、ISBN978-4-623-09613-8、ミネルヴァ書房							
[前提科目]なし							
[学修の課題、評価の方法](テスト、レポート等) レポート(40点) 試験(60点)							

欠席は5回に達した時点で、他の成績に関わらず E 評価とする。  
大幅な遅刻については出席と認めない。  
なおやむを得ない事情により出席ができない場合には、都度教員と連絡をとり別途のレポートなど考慮する場合があります。

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕  
学生の活発な姿勢・発言を評価します。

〔実務経歴〕  
製造業 研究職

授業スケジュール

第 1 回	テーマ(何を学ぶか): 講義の進め方に対するイントロダクション 内 容: 本講義の目標及び個人の学習・グループ討議を交えた進め方に関して、その意義を理解する。教科書・指定図書
第 2 回	テーマ(何を学ぶか): 社会と感染症 内 容: 社会における感染症の影響と経済活動の関係の基礎知識を得る。 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ(何を学ぶか): 社会と気候変動 内 容: 社会における気候変動の影響と経済活動の関係の基礎知識を得る。 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): 科学技術の歴史 内 容: 感染症及び気候変動に関連する科学技術の歴史を学ぶ。 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 感染症の種類と概要 内 容: 感染症の種類と概要に関して講義を行う。 教科書・指定図書
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 感染症が及ぼす社会への影響 内 容: 感染症が社会に及ぼす影響をグループで調査、討議 教科書・指定図書
第 7 回	テーマ(何を学ぶか): 感染症に関する科学技術 内 容: 感染症に関する科学技術の動向をグループで調査、討議 教科書・指定図書
第 8 回	テーマ(何を学ぶか): 感染症に関する未来予想 内 容: 2050年における感染症の未来予想をグループで討議する。 教科書・指定図書
第 9 回	テーマ(何を学ぶか): 気候変動の種類と概要 内 容: 気候変動の種類と概要に関して講義を行う。 教科書・指定図書
第 10 回	テーマ(何を学ぶか): 気候変動が及ぼす社会への影響 内 容: 気候変動が社会に及ぼす影響をグループで調査、討議 教科書・指定図書
第 11 回	テーマ(何を学ぶか): 気候変動に関する科学技術の動向予想 内 容: 気候変動における科学技術の動向をグループで調査、討議する。 教科書・指定図書

第 12 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 気候変動に関する未来予測</p> <p>内 容: 2050年における気候変動の未来予想をグループで討議する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 13 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 2050年の社会に関する未来予想</p> <p>内 容: 2050年における社会の未来予想をグループで討議する。(エネルギー、気候変動、感染症など)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 14 回	<p>テーマ(何を学ぶか): グループ討議のすすめ方とレポート作成</p> <p>内 容: 「社会の課題と役割」に関するグループでのディスカッションとグループでのレポート作成</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 15 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 講義で得られた知識の確認(各人)</p> <p>内 容: 試験を実施するとともに、各自でレポートを作成する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
試 験	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容: 講義全体の理解度を、第 15 回の講義にて確認する。</p> <p>教科書・指定図書</p>